



海のたより



6月スモールレース
スタートシーン



目次	行事予定
表紙 6月スモールレース P 2 MCCカップオデッセイ優勝 P 3 レース成績他、 P 4 各艇コメント P 5 スモールレース P 6 蒲郡マリンカップレース案内	7月 7-8日 MCC 三河湾周遊レース 7月 14-16日 全日本ミドルボート選手権 7月 22日 スモールクルーザーレース 7月 27-29日 パールレース 8月 5日 蒲郡マリンカップレース 8月 11-15日 ジャパンカップ 8月 26日 理事長杯ヨットレース

6月早朝、MCCカップレースオデッセイ優勝（連勝?）

オデッセイ 加藤



オデッセイチームは昨年9月の佐久島レースについての連勝となりました。え?そういうのは連勝と言わないのでは!?!とご指摘のアナタ。オデッセイチームではソーセージやトライアングルコースで勝とうとはハナから考えておりません。ロングディスタンスレースでの連勝ということでもあります。

さて、今回のレースはスキップのI氏が自社の旅行(Guam)で欠席。おまけに梅雨の時季とあってミドルの将軍T氏のテンションが超落ち気味だ。前週のクルージングの帰り際に「雨でもレース来る?」と聞くと「長距離だからなあ・・・」との返事。きっと雨なら来ないと確信した。さてさてどうするか・・・

まず人員不足の手当てをしておかねば。とりあえずM氏に連絡すると来てくれるとのこと、これで何とかメンバーは揃った。そしてレース前日はネットの気象予報と何度もにらめっこ。天候の回復は早まっても、やはり朝までは雨が残りそう。風は昼をピークに西寄り8m前後迄とみた。

夕方になって雨嫌いのT氏から「レースやめにしない?」とメールが届く。「行くよ!」と返信したものの、はたして来るのか疑わしい。次の朝ハーバーでフィッティングをしていると「寝坊しちゃったあ(;^_^A)との電話。もはや確信犯だ。(一;)

いよいよレーススタートだが再び雨が降り出し風がどうなるのか悩む。何だかんだ言ってもレースはお昼近くまではかかるだろうし、いずれ風は上がるとみてジブはNO.2とした。ところがこのNO.2、先週ラフに裂け目があるのが発覚してテープを貼って適当に縫い付けたヤツだ。ちょっと心配。案の定スタート直前になってパウマンのA氏が「フットにも破れがある!」と叫んでいる。「オーマイブッダ!」なんてことだ!とりあえずテープ補修するも、あたふたして誰も時計を見ていない。スタートのホーンが聞こえた時はラインのちよいと手前、しっかり出遅れてしまった。

まあ長距離だからと気を取り直し、目の前の先行艇を追う。スタート直後はそれほどでもなかったが、しばらくすると思ったより風が上がってきている感じで他艇が大きなセールに苦労している。とりわけすぐ風下にいるダンシングは人数が少なくても苦しそうだ。先行艇との差も少しずつ詰まってくるが、こちらもブローではウエザーがかなりきつい。舵で押さえ込むたびスピードを損している気がする。

さて、そんな最中であってもオデッセイのクルーの面々はすでにガールズトークに夢中の様子。もっともガールズトークといっても本日の女性クルーはゼロ。世間で言うところの“girls talk”ではなく“talk about girls”である。こんな悪天候でも明るく楽しくヨットを楽しんでいるオデッセイは素晴らしいチームであります。(メンバー随時募集中) そうこうしているうちに他艇が次々にセールチェンジをはじめた。この間にトップに行くアルミスに並びかけるところまで追いつく。途中こちらもNO.3に交換した方が良いのでは?との思いも頭をよぎったが、8人のウエイトのおかげでとりあえず潮流ブイまでふんばろうと思えたのが大きい。

実はこの時少し問題が発生していた。そろそろ目標を確認しようとしたところ、誰かが主電源をOFFにしてしまった為にGPSナビが死んでいた。再度立ち上げるも、自己位置補足まで数分かかる。目前にブイが見えてきているが、あれはそうなのか??ここまでハイペースで来たのと雨のせいで、いつもの見慣れたブイと思えずにみな半信半疑で結論が出ない。この時点で自艇はブイより右海面を向いていた。目標はどっちなんだ??しかしここで救世主が現れる。アルミスがジブ交換を終え、素晴らしいスピードで我々の前へ出て水先案内の役を買って出てくれた。ありがとう、アルミス。おかげでブイを左からクロックでちゃんと回航できました。(爆)

そんなことで上位各艇とは差もなく、或いはほぼ同時に回航でき、このレグは完勝。

ところが回航して次のレグに入ると予想したよりパワー感がなくトリムも決まらない。スピードに乗れないまま上位艇にずるずる離されそうな予感が走る。ここはふんばり所、とにかくトリムとヘルムに集中して前を追う。もちろん先行艇はこちらよりスピードが出ているのは間違いないが、ある程度距離が離れてからはそれほど差がひらかなくなった気がしていた。途中アルミスやホーネットの角度について行けなくなりやや分が悪くしていたものの、このレグの後半棍島へのアプローチに差ししかかってくると、後から追っている自艇の方が角度の良い風にはまったようで、このレグをほぼイーブンに持ち込めたのではないかと思います。

MCC海のたより7月号・MCC海のたより7月号・MCC海のたより7月号

梶島ブイをアルミス、ホーネットに続き3番手で回航する。

トップに行くアルミスは沖寄り、ホーネットはプロパーに近いライン。後続のダンシングはやや陸よりにコースをとった。ランニングでも風があるせいでスピードはそこそこ出ており、ここはロスが無いコースどりで行きたいのでホーネットの後を追うことに。

とにかくロスなくリスクなくの進路をとる。よりデッドに近いストレートコースでジャイブせず走りぬけ潮流ブイまで戻ってきた。ボートスピードの差を考えるとこれで良いのか確信はなかったが、とにかく走ってはいったので余分な距離を走りたくはなかった。ただ帰路の梶島ブイの回航の際、ここでトラブルがあったら水の泡との思いからクルーワークに余裕を見てジブへのセールチェンジを始めたものの、いつになく早くスムーズに完了してしまい、ジブでのデッドランの時間が長くなってしまった。チョット余裕を取り過ぎだ(オレ)。今日のレースの中では、このわずかな時間が一番長く感じられた。

そして潮流ブイを回航してフィニッシュまでの最終レグへ突入。

梶島回航時には直後にいたダンシングに先に行かれ、スーパーウェーブも差を詰めてきている。梶島から潮流ブイまでの下りレグは少しマイナスゲインだが、それでもなんとかしのいだカタチに持ち込めた。あとはフィニッシュまでイーブンに走りきれば勝てるかも!?!とあえげ後ろのスーパーウェーブにだけは抜かれないことをマークにしてひたすら走る。走る。走る。フィニッシュラインがやけに遠く感じられた。

フィニッシュがあと数分先だったら間違いなく抜かれていたに違いない。

今回のレースは全般的に上手く行ったシラックもあった。そしてこの雨の中、初めてヨットに乗りに来てくれたゲストS君の86Kgの体重も勝利に大きく貢献している。

ミスがあったのはオレだけか……。反省。



名称		MCCカップレース						
コース		S-小島-豊橋潮流-梶島-豊橋潮流-小島-F						
距離		19		マイル				
風速		5~9m						
スタート		7:00:00						
						(B)	(A*B)	
セールNo	艇名	TYPE	所属	MRC	着順	所要時間	修正時間	順位
4832	Odyssey	Tsuboi IMS950	MCC	0.98	4	3:23:55	3:19:50	1
5791	Hornet	Seam 31	MCC	1.011	1	3:18:40	3:20:51	2
5550	Super Wave 6	Slot 31	MCC	0.99	5	3:24:05	3:22:03	3
4825	BeBe	Pioneer 9FR/PB	MCC	0.913	7	3:41:54	3:22:36	4
4774	Armis 5	J/V9.6CR	MCC	1.012	2	3:20:14	3:22:38	5
5933	Dancing Beens 3	Seam 31	MCC	1.013	3	3:21:32	3:24:09	6
3173	C'elestine	Seam 31	MCC	1.014	6	3:28:29	3:31:24	7



台風4号、ごみの置き土産 (市民マリン広場)



海陽ハーバー、簡易トイレ設置されました。

MCC カップレース 各艇コメント

オデッセイ

オデッセイ優勝の原動力として、全艇一致でI氏の不在が挙げられました。スタート前ジブが破れ、修理に手間取っていたにもかかわらずの優勝、全員気持ち良い1日を過ごせました。



ホーネット

今日は当初4名の予定でしたが、ルートリスのタイヨウ君が乗ってくれることになり、6名でレースすることができました。中村隊長がなくてGPSがうまく使えずマークの位置がよくわからず、だいたい210度くらい、270度くらい、などアバウトになってしまいましたがなんとか走りきることができました。大きなミスもなくファーストホームでき、楽しくレースができました。来月もよろしくお祈いします。

スーパーウェーブ

今日の天気予報は、雨は朝にはあがり日中は30℃まであがる、と予想されていましたが、スタートしたら突然の雨と強風。ジブをNO.1ゼノアで良い走りをしていたんですが、大事をとって豊橋潮流ブイの手前でNO.3ジブに変えたら、その後風が落ちNO.3からNO.1に変えようかと悩んでいるうちにジリジリと順位が下がってしまいました。悩んで横着したのはやはりダメですね。でも修正3位で良かったです。

ベベIII

今日はありがとうございました。
今回は船底磨きをサボり走りが悪く、他艇についていけませんでした。次はガンバリマス！

ダンシングビーンズ

今日は5名での参加。
豊橋までNO.1で走ってしまったのが失敗！豊橋を回ってからNO.3にセイルチェンジしたものの風がすぐに落ち、又、NO.1に戻したもののすでに大きく遅れて…。何とか着順で3位まで追いついたので、まあ良かったかな。
みなさん、おつかれ様でした。



スモール6月ポイントレース

ハニービー三戸です。

今回は優勝させて頂きましてありがとうございます。
そしてコミッティを手伝ってくださった大勢の皆様もどうもありがとうございます。

今回の参加メンバーはハニーオリジナルのしのぶちゃんと三戸。涼ちゃんは捻挫した足首が未だ回復せず今回はコミッティのお手伝い。代わりに長男カズ君（8歳）が乗船（レース初デビュー）。他には強力な助っ人のホーネット正木くん&多田さん。この5名で参戦いたしました。



南の超微風の中スタートは11時。
上イチを狙ってアプローチ、予定通り上イチでスタート。スタート直後は4艇一線上に並ぶ、徐々にアヤがスピードを上げて前に。我艇 Y23 は Y21 に微風では走り負けることも多くてこのままだと負けちゃうな、と嫌な予感。

スターボーリングのコースではあったけどスタート前に西側に風が残っている感覚があったので西側にタック。次のアヤとのミーティングではハニーが若干前に出ましたが結局どちらも風には大きな差は無かったみたい。ここは他艇の前に出れただけでラッキー。

小島東の黄色ブイが上マーク。ポートアプローチで東からマークに向かう最中、風が大きく東に振れ、上りきれずしてしまい超ラッキー。この触れで西側に後続艇に大きく差をつけマーク回航することができました。くだりのコース戦略を考えてジャイブセットが用意してあった為やむを得ずジャイブしてからスピニアップ。一旦竹島に船を向け、すぐジャイブ。

このあたりから東風が安定してきてスピードに乗せてハーバーに向けることができました。

12時にハーバー横の下マークが回航できないようならコース短縮の予定なので・・・

時計を気にしながら回航の準備でジブを回していたら「S旗」が見えたので安心してゴールを目指しました。運が良かったのですが久々に参加でき嬉しい楽しい一日になりました。

優勝報告したら今回は残念ながら参加出来なかったメンバーも喜んでくれました。

去年は1度も出場できませんでしたが

助っ人の皆さんに助けてもらいながら今年はたくさん出場したいと思います。

また宜しくお願いします。



名称		6月ポイントスモール							
コース		S-小島ブイ-F							
距離		2.0	マイル						
風速		5m 以下							
スタート		11:00:00							
セール No	艇名	TYPE	所属	MRC	到着時刻	着順	所要時間	修正時間	順位
4418	HoneyBee	YAM23	SCR	0.844	11:54:15	1	0:54:15	0:45:47	1
5426	AYA	YAM21S	SCR	0.822	11:56:37	2	0:56:37	0:46:32	2
258	SexyYou Jr	YAM21C	SCR	0.817	11:58:50	4	0:58:50	0:48:04	3
1	HAYABUSA	Far727	SCR	0.861	11:56:45	3	0:56:45	0:48:52	4

夏は海で遊ぼう！スナメリの泳ぐ海を守ろう！！

第14回蒲郡マリンカップヨットレース

2012. 8. 5 (SUN)

11:00 START!

コース 三谷一小島(東)一帆走区域灯標一小島(東)三谷

(大島、小島、仏島、三島めぐりレース)

夏・恒例の、楽しいイベントを企画しました。

三谷漁業協同組合の協力を得て、レース後は魚市場でバーベキューです。

レーサーもファミリーも一緒に楽しみましょう！！

賞品多数！乞うご期待！

主催 蒲郡マリンカップヨットレース実行委員会
共催 三河湾クルージングクラブ、白谷ヨットクラブ、JSAF外洋東海三河湾F
協力 三谷漁業協同組合、三谷漁港利用者会ヨット部会
適用規則 2009-2012 国際セーリング規則、帆走指示書
参加資格 小型船舶安全検査合格艇 乗員制限 小型船舶安全検査定員以下
出艇申告・艇長会議 8月5日(日)9:00 三谷漁港魚市場

申込締切 7月30日(月)

申込方法 郵送またはFAX 艇名、艇種、セルNo、連絡先住所、氏名、電話、FAX (様式別紙)
申込先 蒲郡マリンカップヨットレース実行委員会
FAX 0533-57-4401 郵送先 443-0104 蒲郡市形原町三浦町11-3
参加料 30f未満 8千円、30f以上 1万円
(バーベキュー参加料を含む、炭、食材、その他を用意いたします。)
振込先 三菱東京UFJ銀行名古屋営業部・普通・No2334627・口座名 ヨットレース実行委員会

表彰 8月5日(日)14:00 三谷漁港魚市場
部門分け・レーサー部門、クルーザー部門
クラス分け・各部門の参加艇数に応じてクラス分けする。
修正時間システムは、本レース独自のものを使用する。
各部門、各クラス別上位艇を表彰する。全艇に参加賞あり。
泊地 8月4日(土)は、三谷漁港内に係留可、事前申込要
問合せ先 FAX0533-57-4401 または Eメール naka4401@sk2.aitai.ne.jp をお願いします。

お願い

体験乗船を一部艇に義務付けます、協力をお願いします。
各艇、バーベキューコンロを持参してください。
魚市場の下は濡れています、腰掛用にシートを持参してください。
ゴミは、各艇持ち帰っていただきます。ご協力ください。

第14回 蒲郡マリンカップヨットレース 参加申込書

艇名 (漢字等の場合、カナを付けてください)
セールNo (無い場合、無しと記入してください)
艇種 (ヤマハ23-II等、詳しく記入してください)
全長 m, feet
泊地 (通常、係留等しているマリーナ名を記入してください)

所有者(代表者)氏名
同上 住所

連絡責任者 氏名
同上住所(郵便番号)
同上 電話 FAX

参加料 振込日 年 月 日

レース前夜、三谷漁港に 係留したい、 係留しない

申込締切 7月30日(月)

申込み先 蒲郡マリンカップヨットレース実行委員会

FAX 0533-57-4401

郵送 443-0104 蒲郡市形原町三浦町11-3

Eメール naka4401@sk2.aitai.ne.jp

ハンディキャップ(修正時間係数)算出資料

艇種別の標準データ等から、本レース独自の修正時間係数を算出します。
次の項目について○印等でお答えください。

艇種 (ヤマハ23-II等、詳しく記入してください)

ファーリングジブ 使用、 不使用

プロペラ 船外機、フォールディング、フェザリング、固定2翼、固定3翼

出艇申告時に別紙乗員名簿を記載提出していただきます。 **当日提出** してください。
乗員の氏名、性別、年齢、住所(市町村名)及びコメントを記載してください。

第14回 蒲郡マリンカップヨットレース 乗員名簿

当日提出

艇名 _____ 艇種 _____ 全長 _____ feet

セール No _____ 泊地 _____

所有者（代表者）氏名 _____

所有者（代表者）住所 _____

電話 _____ FAX _____

	氏名	性別	年齢	住所（市町村名）
(艇長)				
2				
3				
4				
5				
7				
8				
9				

コメント（各艇紹介に使います、乗員・艇の特色などを記入してください）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

不足は裏面を使用ください。